



鎌倉ブランド野菜、 水曜日

「駐車場を使って12年」 玉縄小学校ちかくの繁盛市場

実は水曜日と言っても、今は火曜日の夜から賑わいます。水曜日になると品薄になるのがいつものこと。新鮮で安い鎌倉野菜が食べられると評判だからです。

場所は玉縄小学校前の信号を、玉縄交番方面から来ると右折して、突き当たりT字路の左側。半分地下式の駐車場ですが、そのうちの2区画を借り受けて、野菜が並びます。運営しているのは、近くにお住まいの稲垣利晃さん（写真）。

でも、稲垣さんは、言ってみれば留守番役。実際の切り盛り役は奥さんの



真知子さんと、関谷や渡内などで野菜を作る農家の奥さん連です。そもそものきっかけが、「採れたてのトマトを近所の方に振る舞った時に、『こんな美味しいトマトなら、ぜひ売って頂戴』と、せがまれた」からだそうです。

農家の皆さんは JA さがみを通じて、鎌倉駅前の廉売所に商品を出したりしていましたが、



一部を玉縄で水曜日として売り出しました。廉売所よりちょっと安い値段を付け、新鮮で安いが評判。宣伝するわけでもなくすっかり口コミでお客さんが増えたそうです。

幼稚園のママ友たちが連れだって寄ってくれたり、前日の仕込みの火曜日 4 時過ぎになると、すでに人だかりができ「水曜日なのにこれでは火曜日」と嬉しい悲鳴とか。

水曜日に野菜を出すお仲間は 10 人余り。売値を安くしているの利益はほとんど出ずに、お客さんの対応をする皆さんはボランティア。「別に商売でやっているわけではないの。こうしてみんなと集まり、ワイワイガヤガヤこれが楽しみ」と、奥さんの真知子さん。

売り場に隣接する部屋は、野菜を洗ったり、整えたり売るための準備をする場所だが、みなさんの格好のたまり場。10 人ぐらいは入れるので、お茶を飲んだりお喋りをしたり、商売はそっちのけで、実は半分はこっちが目的になっている、とみなさん楽しそう。

